

選択科目  
ひばりクリニック 臨床研修プログラム

1. 研修施設

ひばりクリニック

2. 研修期間

1 か月間

※国立病院機構 宇都宮病院にて研修時に週 1 日・月 4 日の研修も認める

3. 指導体制

指導責任者：高 橋 昭 彦 院長

4. 研修内容

I：一般目標

将来の専門性にかかわらず、地域保健活動を理解し、地域に根差したかかりつけ医療機関において、多様なプライマリケアや在宅医療といった地域医療の位置付けを理解し実践できる。

A 一般外来研修・・・・・・・・・・(4 週間)

B 在宅医療研修・・・・・・・・・・(週 1 日・月 4 日程度指導医の在宅診療に同行)

II：行動目標

- (1) 患者と医師との関係性を理解する
- (2) チーム医療の重要性を理解する
- (3) 問題対応能力を身につける
- (4) 安全管理の必要性を理解する
- (5) 在宅診療の進め方を実践する
- (6) かかりつけ医の社会的役割を理解する

III：経験目標

A 一般外来研修

- (1) かかりつけ医におけるプライマリケア全般を経験する
- (2) 病院と診療所・介護施設などとの連携を実践し重要性を理解する
- (3) 身体所見・神経所見・問診による基本的な診療を実践する

B 在宅医療研修

- (1) 在宅医療における保健師や医療ソーシャルワーカー(MSW)の役割を理解する。

- (2) 在宅医療を通して社会的弱者への保健・医療・福祉の課題を理解する。
- (3) 在宅医療全般（栄養管理、慢性疾患、緩和ケア、神経難病、重症心身、認知症、在宅科など）の慢性期・終末期の診療を実践する。
- (4) 在宅療養患者やその家族を支える地域保健活動や行政の役割（地域資源やその活用方法）を理解する。
- (5) 在宅医療における病院と診療所・介護施設などとの連携の重要性を理解する。

#### IV：研修スケジュール

##### A 一般外来研修

1 ヶ月の研修期間において、週 4 日患者の多岐にわたる症例を経験する。

- (1) かかりつけ医におけるプライマリケア全般を経験する
- (2) 病院と診療所・介護施設などとの連携を実践し重要性を理解する
- (3) 身体所見・神経所見・問診による基本的な診療を実践する
- (4) 受持患者に関連した児童相談所等を活用し、実習を通して当該施設の役割などを研修する。

##### B 在宅医療研修

週 1 日の研修において、在宅での栄養管理やがん緩和ケアなどを実践する。

- (1) 胃ろう（PEG）造設やその管理方法、在宅成分栄養経管栄養法、在宅中心静脈栄養輸液法や CV ポート管理、褥瘡予防や治療法などを研修する。
- (2) 受け持ち患者に関連した病院・訪問看護ステーション・老人保健施設等の活用・連携を実践する。
- (3) 受け持ち患者に関連した難病相談支援センター等の活用方法を研修する。